

輸送動向について(平成22年度第3 - 四半期)

平成23年1月

1. 輸送概況

第3 - 四半期は、12月に東日本から北日本地区にかけて強風や大雪による輸送障害が発生し、全体では高速貨180本、専貨10本が運休した。

荷動きについては、急激な円高に伴う輸出産業の生産活動の停滞及びエコカー補助金の終了による新車販売の落ち込みの影響を受けたものの、家電エコポイント制度による家電製品の販売の急増を受け、全体では堅調に推移した。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、食料工業品が前年を下回ったものの、自動車部品、家電・情報機器、化学工業品などが前年を上回り、全体では前年比102.9%となった。家電・情報機器はメーカーによるモダリティシフトの取組みの進展等により大幅な増送となった。また、自動車部品は一部車種の生産台数の増加に伴い増送となった。一方、農産品・青果物は北海道地区の野菜類が、昨年の天候不順と猛暑による成育不良の影響を受け減送となった。また、食料工業品は10月のたばこの増税後の販売減により減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石など全ての品目が前年を下回り、全体では前年比95.6%となった。石油は燃料転換の進展及び前年より高温の期間が多かったことから重油・灯油等が減送となった。また、セメント・石灰石は工場の出荷調整に伴い減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	3 - 四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,596	5,440	102.9%
車扱	2,821	2,951	95.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	606	657	-51	92.2%
	化学工業品	525	503	22	104.4%
	化学薬品	407	399	8	102.0%
	食料工業品	848	850	-2	99.8%
	紙・パルプ	819	783	36	104.6%
	他工業品	414	386	28	107.3%
	積合せ貨物	599	597	2	100.3%
	自動車部品	217	187	30	116.0%
	家電・情報機器	148	112	36	132.1%
	エコ関連物資	94	92	2	102.2%
	その他	918	875	43	104.9%
	コンテナ計	5,596	5,440	156	102.9%
	車扱	石油	1,985	2,048	-63
セメント・石灰石		315	331	-16	95.2%
車両		252	287	-35	87.7%
その他		269	284	-15	94.5%
車扱計		2,821	2,951	-130	95.6%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)